

火災検知用マルチ警報器（仮称）

検査規程検討専門委員会の設置について

1. 検討の背景

一般財団法人日本ガス機器検査協会（以下：JIA）では、2001 年から住宅用火災警報器と一体型の一酸化炭素（CO）警報器の認証を行っている。

（火災警報器部：日本消防検定協会様 検定、CO 検知部：JIA 認証）

CO センサの寿命を考慮し、有効期限 5 年として認証を続けてきたが、発売から 18 年が経ち、省電力・高寿命且つ高精度の CO センサが開発され、製造事業者や販売元であるガス事業者から住宅用火災警報器と同じ有効期限での認証を要望されている。

現在 JIA 規程で対象とする不完全燃焼排ガスとは、厨房における燃焼機器から発生する CO としているが、今回検討する警報器は居室設置が前提である。近年火災検知に CO センサが有効であることが示されていることを踏まえ、火災検知の補助となり得る安全性を高めたものとすべく、火災検知用マルチ警報器（仮称）検査規程専門委員会を設置し、求められる技術基準について検討する。

2. 主な検討

CO 検知機能を含んだ都市ガス用電池式ガス漏れ警報器検査規程を参考に、火災検知用マルチ警報器（仮称）に特化した基準及び試験方法を検討する。

3. 検討体制

ガス機器技術基準等調査委員会の下部組織として火災検知用マルチ警報器（仮称）検査規程検討専門委員会を設置し、関係団体、製造事業者及び JIA にて検査規程の検討を行う。

また、今年度末の調査委員会での承認を経て、2020 年度初旬に検査・認証業務の開始を目指す。